

大人のための北東北エリアマガジンラ・クラ特別編集

ra:kra × 平川

青森県平川市

HIRAKAWA TRAVEL
GUIDE BOOK

TAKE FREE

とつておまの
平川を探しに行こう



尾上・平賀・碓ヶ関

庭を眺めるために
建てられた館



国指定名勝 盛美園

ジブリ映画「借りぐらしのアリエッティ」の舞台の参考になったといわれている場所。

園内の一角には「盛美館」という、1階が純和風、2階が洋風の和洋折衷の建物があり、庭園と融合した独特の美しさがある。また、日本最大の蒔絵が飾られた御宝殿は、一見の価値あり。

●平川市猿賀石林1 ●TEL 0172-57-2020
●開園時間／9:00～17:00 ●休園日／年末年始 ※当面の間、12月～4月中旬は休園 ●入園料／大人500円、中高生330円、小学生220円
※御宝殿は保存のため、入園時間内30分ごとに1回3分のペースで公開
※冬期間については要問い合わせ

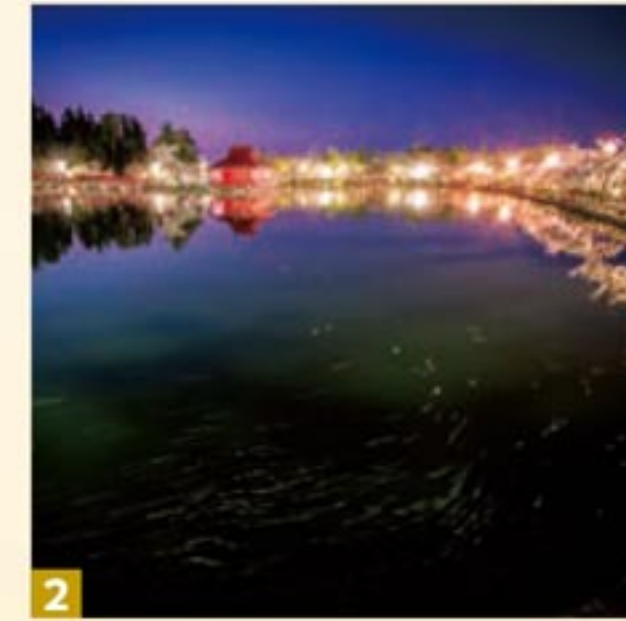


3つのエリアで過ごす
とっておきの時間

歴史のある庭園や建物が残る尾上、藩政時代の面影がある礎ヶ関、自然に恵まれた平賀。趣の異なる3つのエリアでとっておきを探しながら巡り、最後はおみやげもチェック。この旅が終わる頃には、思い出でいっぱいになっているはず。



#盛美園 #盛美館



#猿賀公園ライトアップ #平川さくらまつり



#津軽の桃

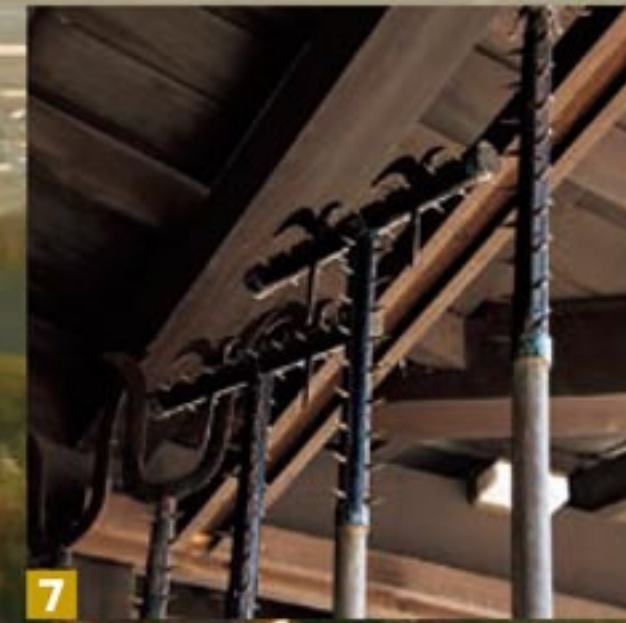


#南田温泉ホテルアップルランド #りんご風呂

和洋折衷の不思議な建物や桜と蓮が美しい神社、山の奥に湧く秘湯。夏には巨大な扇ねぶたが運行し、冬はイルミネーションが煌めく。ここにはみんなに教えたくない、とっておきがあります。

平川市

やつぱり
ここだね、



#礎ヶ関御関所 #道の駅いかりがせき



#蓮の花 #猿賀公園



#ひらかわイルミネーションプロムナード

1 深い甘みをもつ津軽の桃も平川の自慢のフルーツ。 2 「平川さくらまつり」では、「猿賀公園」の夜桜が美しくライトアップされる。 3 明治文化の面影をしのばせる春の「盛美館」。 4 りんごを浮かべた風呂が有名な、りんごづくしの温泉旅館。 5 平川市と友好交流協定を結んでいる台湾・台中市の提灯やイルミネーションが冬の平賀駅前を彩る。 6 夏は「和蓮」が猿賀公園の鏡ヶ池一面を彩る。 7 江戸時代、三大関所の一つに数えられた「礎ヶ関御関所」。

■QRコードに、QR読み取り機能付きスマートフォンをかざすと掲載スポットの動画が見られます。



O N O E

尾上

猿賀神社と隣接する猿賀公園は、緑とやすらぎに満ちたエリア。春の桜や夏の蓮、冬の雪景色も見応えがある。折々の風景を楽しみながらの散策もおすすめ。

猿賀神社

坂上田村麻呂が上毛野君田道命を祀り建立。藩政時代には津軽為信の祈願所となり、農漁業、交通、眼の守護神として崇拝される。本殿は県の重要文化財に指定されている。また、桜と蓮の名所として知られ、拜殿から「胸肩神社」に向かう鏡ヶ池は7月下旬になると一面、蓮の花に覆われる。

● 平川市猿賀石林175
● TEL 0172-57-2016



歴代の領主が崇拝

津軽のパワースポット



拜殿の東側にある「あかい堂（水天宮）。龍神・水波能女神を祀り、社の裏側を覗くと龍頭（りゅうとう）から水が流れる。軒下から2体の見事な木彫りの大蛇が参拝者を見守っている。



鮮やかな和蓮に包まれるフォトジェニックな世界

↑ 鏡ヶ池の蓮は、午前中が見頃

「猿賀神社」は初夏になると蓮の名所となる。「鏡ヶ池」を覆うように蓮の葉が生い茂り、その間からピンク色の花が姿を見せる。朝6時ごろから咲き始め、昼過ぎには閉じてしまうので、お出かけの際は早目に。毎年7月下旬には「平川市蓮の花まつり」を開催。

※「平川市蓮の花まつり」の問い合わせ
(一社) 平川市観光協会
(TEL 0172-40-2231)



猿賀公園

「猿賀神社」に隣接する公園。春には神池である鏡ヶ池、見晴ヶ池を取り囲む約330本の桜が咲き誇る。

● 平川市猿賀石林地内
● 問い合わせ/
平川市商工観光課
(TEL 0172-44-1111)



「猿賀神社」の信仰の中心となっている「鏡ヶ池」。中島周辺は散供占いの霊場であり、伝説によると津軽二代藩主・津軽信牧が霊夢によってつくったといわれている。

四季の蔵もてなしロマン館



● 平川市猿賀石林10-1 ● TEL 0172-43-5610
● 営業時間 / 9:00~17:00 (10月~3月16:30まで) ● 定休日 / 年末年始

盛美園に隣接するショップ&レストラン。地元野菜や加工品を購入できるほか、レストランでは人気の「煮干しラーメン」を味わいながらゆっくりと過ごせる。また、昔から造園業が盛んだった尾上エリアの造園業者が共同で作庭した「見本庭園」もあり、趣の異なる6つの庭園が並び、造園技術の高さが垣間見られる。

さるか茶房

平川市観光協会に併設されている「さるか茶房」。ここで注文したいのが、猿賀の「猿」にちなんだドリンク「バナナジュース」。砂糖を一切使用しておらず、バナナ本来の甘さと濃厚な風味が味わえると好評。



コーヒーやドーナツなども販売。散策途中に立ち寄りやすい。



「バナナジュース」(400円、税込)は子どもにも人気。

● 平川市猿賀石林94
(一社) 平川市観光協会内
● TEL 0172-40-2231
● 営業時間 / 9:00~16:30
● 定休日 / 年末年始

尾上のカフェでひと休み



「濃厚プレミアムチーズバーガー オリジナルサイズ (1,303円)」。
「自家製ジンジャール」はセット価格366円・単品427円。全て税込。

青森県産牛のパティ
プレミアムな味を堪能

ユイト デュボワ 八幡崎店



青森県産牛のパティを炭火焼きし、国産野菜を挟んだプレミアムバーガーが評判。4種類のチーズを使った「濃厚プレミアムチーズバーガー」は、味わい深いひと皿。「自家製ジンジャール」と共にどうぞ。

ひとりでもゆっくりと過ごせるカウンター席。
● 平川市八幡崎松枝42-1 ● TEL 0172-40-2838
● 営業時間 / 11:00 ~ 15:00 ※夜は予約制 (4名から予約可) ● 定休日 / 金曜

白金珈琲 (プラチナコーヒー)

30種類以上のコーヒー豆などを販売。「平川ブレンドりんごの花」は調和のとれた味で、おみやげにも最適。県内唯一のSlayer Espresso社のエスプレッソマシンで淹れたカフェラテやエスプレッソも絶品。

● 平川市日沼樋田2-1 ● TEL 0172-55-0938
● 営業時間 / 9:00 ~ 19:00 (変更あり) ● 定休日 / 不定休



1 コーヒーの香りが漂う店内。2 「平川ブレンドりんごの花」は100グラム・650円。
3 「Drip Based (400円)」でゆっくりと。全て税込。

定番寄り道ス
平川ブレ
ント
でひと息



1 月1回の営業日には、遠くからもお客が訪れる。2 平川市産米粉などでつくる体に優しいパン。月替わりメニューもあり。

月イチ営業の蔵カフェ
手づくりのパンが自慢

国産小麦と米粉のパン 蔵工房

株式会社グリーンファーム農家蔵が空き家を改装してオープン。毎月最終金・土曜のみの営業で、カフェスペースのほか、店頭では国産小麦と米粉「つがるロマン」を使用したパンを販売している。

● 平川市金屋中松元88-1 ● TEL 0172-88-5039
● 営業時間 / 毎月最終金・土曜11:00 ~ 16:00



集落を守る「鳥居の鬼コ」

津軽地方には全国的にも珍しい、鳥居に鬼コが鎮座している神社が多い。平川市日沼地区にある「三社神社」の鳥居には赤い禪をつけた青鬼がおり、天災や疫病が集落に入り込まないように鬼が睨みをきかせている。鳥居の後ろからみると、キュートなお尻が見えて愛らしい。



冬こそ訪れたい
一夜限りのイベント

農家蔵ライトアップ

金屋地区は、国登録有形文化財「農家蔵」と農家庭園が現存し、後世へ残すべき建造物・文化遺産として全国から高い評価を得ている。毎年1月下旬には一夜限りのライトアップを開催。雪と行灯の幻想的な光景は一見の価値あり。

● 平川市金屋中松元 問い合わせ / NPO 法人尾上蔵保存利活用促進会 (TEL 0172-88-5039)

津軽地方の庭園の歴史と技術を間近で

農家蔵・農家庭園めぐり

米やリンゴを貯蔵するために必要だった農家蔵や「つぼ」と呼ばれる農家庭園。ガイドと巡る体験プログラム (通年) もあり、普段入ることのできない私有の庭園や蔵の中が見学できる。

● 平川市金屋中松元
● 問い合わせ / NPO 法人尾上蔵保存利活用促進会 (TEL 0172-88-5039)



農村に花開いた蔵と庭園
生け垣文化を今に伝える

昔から造園を生業にする人たちが多かった尾上エリア。道路沿いにはサワラの生け垣が続き、さわやかなサワラの香りがすることも。全国でも珍しい「平川市の生け垣を守り育てる条例」が制定され、保存に力を入れている。



国指定名勝
清藤氏書院庭園
武骨で個人的な
庭園流派
大石武学流の源流



生け垣が続く小路

猿賀神社近くに「リヤカーけんど」と呼ばれる小路がある。「けんど」とは津軽弁で道路のこと。「新日本歩く道紀行の歩いておきたい1000の道」のひとつ「生垣と庭園散策コース」に選ばれている。

● 平川市 猿賀神社付近

「盛美園」に隣接する庭園。清藤氏の歴史は古く、鎌倉時代まで遡る。書院庭園は江戸時代末期の作庭で、津軽地方に見られる大石武学流の源流といわれる。母屋は明治初期に建築されたもの。

● 平川市猿賀石林1 ● TEL 0172-57-2127
● 開園時間 / 9:00 ~ 17:00 (事前問い合わせ) ● 休園日 / 不定休
● 入園料 / 大人300円、高校・大学生200円、小中学生100円



道マニアも訪れる
リヤカー
けんど



昔と今、歴史が交差する「道の駅いかりがせき」



道の駅いかりがせき

特産品も揃う 碓ヶ関エリアの観光拠点

関所資料館をはじめ、温泉、食事処、産直、おみやげ店などが揃う。ここに来たら味わいたいのが「野菜カレー」。カレールウに碓ヶ関の特産であるマルメロ、青森県産鶏を入れた自慢の一皿だ。

● 平川市碓ヶ関碓石13-1 ● TEL 0172-49-5020
● 営業時間/9:00~18:00 ● 休館日/年末年始



食事処で味わうご当地カレー

道の駅いかりがせきの「お食事処彩里」の看板メニューは「野菜カレー(900円・税込)」。特産のマルメロを使ったカレーの香り、色とりどりの野菜に食欲がそそられる。

そのほか、自然薯を使用したご当地メニューも提供され、碓ヶ関らしさを体験できる。

おいしい新鮮野菜が並ぶ産直

道の駅の楽しみといえば、産直コーナー。道の駅いかりがせきにも地域の生産者が丹精を込めた野菜が並ぶ「特産品直売所」がある。さらに惣菜や加工品などもあり、それらを求めて早くから多くのお客が訪れる。



上品な甘さが持ち味の 「津軽の桃ソフトクリーム」

散策やドライブの途中に味わうご当地ソフトクリームは格別。「お食事処彩里」の「津軽の桃ソフトクリーム」は、桃好きならずとも惹かれる魅力的なスイーツ。平川市の桃農家のこだわりが詰まった「津軽の桃」をたっぷり使い、香りと風味が存分に感じられる。



足湯でリフレッシュ

道の駅のメイン施設から関所資料館へ行く散歩道沿いには「大名足湯」があり、泉質は単純温泉(低張性弱アルカリ性温泉)。散策やドライブの疲れを癒してくれる。※冬季は閉鎖

道の駅のメイン施設 「道路情報館」

青森県及び秋田県の道路情報をモニターで確認でき、観光情報も入手できる施設。ドライブで疲れた時の休憩スペースやトイレ、授乳室も完備しています。

● 2022年9月現在、道の駅いかりがせきは改装中。お食事処彩里は仮設で営業しています

IKARIGASEKI

碓ヶ関

江戸時代の
記憶と記録が残る関所



脱藩者や問者を防ぐための取り調べ風景。



かつて、秋田と津軽を結ぶ羽州街道の要の地として栄えた碓ヶ関。道の駅に隣接する碓ヶ関御関所では、江戸時代の雰囲気を感じることができる。

碓ヶ関御関所

天正14年(1586)、津軽為信は、津軽街道と羽州街道の交点にあり交通の要衝だった碓ヶ関に御関所を設置。調べの厳しさでは、「厳重なること箱根の関所も及ばない」といわれるほどだったという。「関所資料館」では当時の取り調べの様子が再現されている。

● 平川市碓ヶ関碓石13-1
● TEL 0172-49-5020
● 開館時間/9:00~17:00
● 入館料/無料
● 休館日/年末年始



江戸時代の面影が残るまち



雪のように白い岩肌
凝灰岩の美を堪能する

白岩森林公園

真っ白な岩肌と緑の木々や青い空とのコントラストが美しく、神秘的な「白岩森林公園」。展望台まで草花や森林浴を楽しみながらトレッキングができる遊歩道もあり、アウトドアにおすすめ。

- 平川市尾崎黒倉沢1-1
- 開園期間/4月中旬～11月中旬
- 問い合わせ/白岩森林公園管理棟 (TEL 0172-44-2611)



世界一の扇ねぶたを鑑賞 ねぶた展示館



一般的なねぶたよりはるかに大きい世界一の扇ねぶた。8月の「平川ねぶたまつり」では運行のトリを飾る。そのねぶたを展示しているほか、受賞したねぶた団体の写真を飾ったギャラリーもある。

◀ 首が痛くなるほど見上げる大きさと勇ましい武者絵で迫力満点。

- 平川市柏木町藤山16-1 ● TEL 0172-44-1111 (平川市商工観光課)
- 開館時間/8:30～16:30 ※気象条件により閉館の場合あり ● 入館料/無料
- 休館日/6月中旬～7月中旬 (ねぶた絵貼り替え期間)

特別企画「弘南鉄道車両基地見学」



一般公開されていない弘南鉄道の車両基地を見学できる特別企画。鉄道マンに代々受け継がれてきた修繕技術の作業見学、昭和4年(1929)製のラッセル車などのレトロ車両を間近で見るとのチャンスを逃さない。

安全運行の要である車両基地。

- 平川市本町北柳田 弘南鉄道平賀駅
- TEL 0172-44-3136 (弘南鉄道株式会社業務部営業課)
- 開催期間/随時 ※1週間前までに要予約、2名から受付
- 所要時間/約1時間～2時間
- 体験料金/1名3,000円(弘南鉄道グッズ付き)

平賀の癒しスポット

GARDEN 大きなくりの木の下で

地域を見守ってきた樹齢500年を超えるくりの木と、花鳥風月をテーマにしたガーデン。春の菜の花、初夏のバラ、アジサイ、ラベンダー、秋のコスモス、ダリアと季節の花が咲き、目も心も楽しませてくれる。カフェスペースでは、ゆったりとしたティータイムが過ごせる。

- 平川市町居山元314 ● TEL 0172-88-5529 (開園時間のみ)
- 開園期間/4月～10月 ※台風等気象条件により閉園・休業する場合あり
- 開園時間/10:00～16:00 ● 入園料/500円(飲み物付き)



すてきな洋館もあり、フォトジェニックな空間となっている。



鮮やかな色と豊かな香りに包まれる庭園。

津軽平野と岩木山を一望
最高のビュースポット



HIRAKA

平賀

岩木山を望む津軽平野の夕景、珍しい白い岩壁……。平川市まで来なければ見られない自然風景である。

志賀坊森林公園

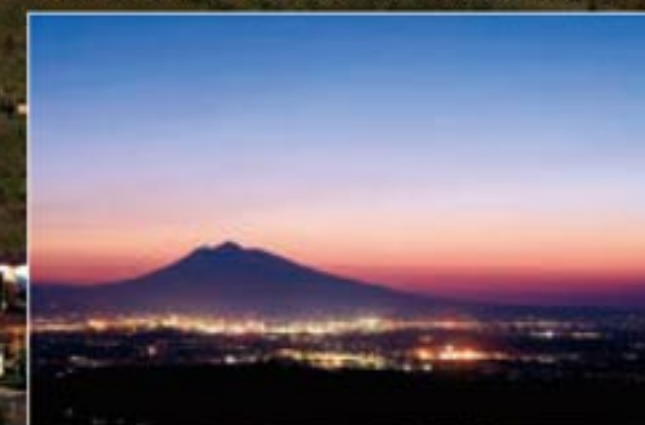
標高350メートルに位置する公園から望む岩木山と津軽平野は必見だ。夕暮れ時がおすすめで、空が徐々に紅から群青に変化し、街に明かりが灯っていくさまは幻想的で美しい。

遊歩道も整備されているので、散策も楽しめる。

- 平川市広船嘉瀬沢47-1
- 開園期間/4月中旬～11月中旬
- 問い合わせ/志賀坊ふれあい館 (TEL 0172-44-2941)



東屋からの眺望は、撮影スポットとして人気が高い。



津軽の自然・暮らしを伝える

Delicious!

3 味の香園本店の「太打ち中華」

太麺は、
うどん並みの太さ!

昭和20年代創業の食堂。親子3代にわたり通う常連客もいる店の人気は「太打ち中華」だ。うどんのように太い平打ち麺は、豚骨と煮干しでとったスープとの絡みがよく、すすると食べられる。手づくりのチャーシューも大きく、柔らかで美味。手づくりを大切にする老舗の味をじっくりと楽しみたい。

- 平川市尾上栄松32-1 ● TEL 0172-57-2145
- 営業時間 / 11:00 ~ 17:00、火・日曜11:00 ~ 16:00
- 定休日 / 水曜（祝日の場合は翌日休み）
- アクセス / 弘南鉄道津軽尾上駅から徒歩約10分



外壁にかけられた地元作家・西谷逸泉さんの絵がかわいらしい。



店を切り盛りするのは、三代目の藤全良さん・美子さん。



先代が「ほかにないものを」と考案した「太打ち中華（590円・税込）」。

4 麺や藤山の「みそラーメン」

平川ならではの味噌を使用

平川市外からも足を運ぶお客が多い店。人気の秘密は「クセになる」「やみつきになる」といわれるラーメンにある。スープは鶏ガラを中心に汁をとり、「味噌ラーメン」には平川市ならではの「大光寺みそ」をブレンド。味噌ラーメンと肩を並べる「酸辣湯麺」は、辛さのあとにくるさわやかな酸味が好評だ。

- 平川市柏木町藤山30-13
- TEL 0172-55-5958
- 営業時間 / 11:00 ~ 14:00、18:00 ~ 22:00
- 定休日 / 日曜、祝日 ※不定休あり



店は平賀駅近く。女性も入りやすい店構えになっている。



姉弟で店を切り盛り。てきぱきとした動きが気持ちいい。



「みそラーメン（780円・税込）」は、大光寺みそ独特のコクが感じられる。

🍴 地元おすすめグルメガイド

平川に来たら、これを食べてほしい。
地元が通い、観光客におすすめしたいグルメスポットを紹介!

国産食材と
無化調にこだわる

店主のラーメンに対するひたむきなこだわりが感じられるラーメン。スープは、豚ガラと鶏ガラをじっくり煮込み、6種類の煮干しと3種類の厚切り節（本枯節・宗田節・鯖節）で出汁をとったもの。これに3種類の丸大豆醤油をブレンドし、あっさりとした醤油味の奥に煮干しの風味もしっかりと感じられる。



テーブルの間が広めに取られているので、ゆったりと寛げる。



店は平賀バイパス沿いにあり、市内外からお客が訪れる。

1 「麺処中むらの醤油拉麺」



大きな自家製チャーシューと海苔がのった「醤油拉麺（700円・税込）」。

- 平川市柏木町東田313-3
- 営業時間 / 11:00 ~ 14:00、土曜11:00 ~ 14:00・17:30 ~ 20:00
- 定休日 / 月曜（祝日の場合は翌日休み）



個性豊かな平川ラーメン
昔ながらのほっとする味から個性的なラーメンまで、バラエティーに富み、毎日のように食べても飽きることがない。これが平川ラーメンの魅力である。

2 味助の「中華そば」

ポイントは濃厚煮干しスープ!

創業30年、赤いぼりが目印の食堂。「中華そば」のスープに特徴があり、濃いめの煮干し出汁で、この味にハマる人が続出とか。それに合わせる麺は細いちぢれ麺。肩ロースのチャーシューは食べ応えたっぷり、噛むたびに旨味が口の中に広がる。焼きそばも人気!

- 平川市高木原富209 ● TEL 0172-57-5733
- 営業時間 / 10:30 ~ 14:00 (LO) ● 定休日 / 月・火曜

「焼きそば」や「ナポリタン」のテイクアウトもおすすめ。



店内には中華そばのスープの香りが漂い、食欲がそそられる。



煮干し好きにはたまらない「中華そば（700円・税込）」。

1 meat soul (ミートソウル)

肉本来のおいしさを伝える1本

精肉も扱うやきとり店。「やきとり」の味つけはタレと塩味の2種類で、注文を受けてから焼くので事前の予約がおすすめ。もも、豚トロ、牛くし、つくね、砂肝、皮、なんこつなど種類も豊富。1本から注文できるので、おやつ代わりに買う人もいます。

そのほか、焼肉用の味付け肉もあり、牛サガリや豚サガリ、ミックスホルモン(モツ)なども販売している。



バーベキュー用の肉を買い求めにくる人も多い。

- 平川市松崎亀井45-1
- TEL 0172-44-8885
- 営業時間 / 11:00 ~ 18:30、日曜・祝日9:00 ~ 17:00
- 定休日 / 月曜、隔週木曜



やきとりは1本80円。焼き上がりはカリッとした食感で中はジューシー。タレにはすりおろしたタマネギ入りで肉のおいしさを引き立てている。

GOURMET GUIDE やきとり編



砂肝やなんこつは塩味で。

地元のみならず市外にもファンが多い。テイクアウト専門のやきとり店。食べ出したらとまらない自慢の味をどうぞ。

匂いにさそわれて「やきとり」

2 焼鳥ひろ



1本80円。若い方も年配の方も食べやすい大きさと味付けにしている。

定番のほかに 変わり種のやきとりも

弘南鉄道尾上駅近くにある「焼鳥ひろ」。ねぎまや手羽、皮、砂肝などの定番メニューのほか、季節の野菜を使ったものも。「初めての方にはいろいろな種類を味わえる「おまかせ(1,000円・2,000円、タレ・塩)」をおすすめしています」と店主。ていねいに下ごしらえを施したあと、じっくりと焼き上げた1本は、酒の肴としても晩御飯のおかずにもぴったりである。

- 平川市中佐度南田18-19 ● TEL 080-4514-7657
- 営業時間 / 16:00 ~ 20:00 ※電話予約9:00 ~ 19:30
- 定休日 / 日曜、祝日

「安くておいしい焼鳥」と評判。



ひと言コメント付きのメニュー。どれにしようか悩みそう。



店は盛美園の近くにある。店主の自宅の一部を改装して開店。

リピーターが多い ラーメン店

小上がり席があるため子連れでも気軽に利用できる店。定番の「ラーメン」に使うスープは煮干しや野菜、昆布から取った昔ながらの味。スープが中細のちぢれ麺とよく絡み、ふわっと柔らかな自家製チャーシューもおいしく、納得のいく一杯である。駐車場が3台のみのため、時間をずらしていくとゆったりと過ごせる。

- 平川市原上原1-1
- TEL 0172-57-2218
- 営業時間 / 11:00 ~ 15:00、17:00 ~ 20:00
- 定休日 / 火曜(祝日の場合は営業)

5 吉屋の「ラーメン」

煮干しと昆布の津軽味「醤油ラーメン(650円・税込)」は、何度でも食べたい。



昔ながらのあっさりとした「味噌ラーメン(780円・税込)」。



6 風の谷の「味噌ラーメン」

アクアリウムの世界で食事を

店内にずらりと並ぶ熱帯魚の水槽と観葉植物。アクアリウムの雰囲気の中で食事を楽しめる。看板メニューの「味噌ラーメン」は生姜と味噌の風味が効いたスープで、最後の一滴まで飲み干してしまいそうなおいしさ。このほか、店名の「風の谷」にちなんだ「ナウシカラーメン」も人気だ。

- 平川市館山上扇田16-10
- TEL 0172-44-8839
- 営業時間 / 11:00 ~ 14:30 (LO)、17:00 ~ 20:00 (LO)
- 定休日 / 水曜、第3木曜、お盆、12月31日・1月1日



明かりを抑えたなか、ゆったりと泳ぐ熱帯魚は幻想的。



熱帯魚店と軽食喫茶からスタートし、いまはラーメンも有名に。

フルーツたっぷりスイーツ

平川産の甘酸っぱいりんご、甘くてジューシーな桃を使ったスイーツ。かわいらしい見た目はおもてなしにもおすすめ。すてきなティータイムになること間違いなし。



1 古川菓子舗の「アップルケーキ」

りんごをまるごと1個、閉じ込めたケーキ。手みやげにも喜ばれるスイーツだ。

- 平川市尾上栄松24-1
- TEL 0172-57-2206
- 営業時間/8:30~18:30
- 定休日/無休 ● 1個930円(税込)

りんごのおいしさをケーキの中に閉じ込めて

2

ももさわ菓子舗の「桃プリン」

子どもから大人まで広く親しまれているプリン。口どけなめらかなプリンの上に津軽の桃のソースをかけた一品。卵のコクと桃の甘さのバランスも絶妙でおいしい。

- 平川市本町北柳田16-1
- TEL 0172-44-2015
- 営業時間/8:30~19:00
- 定休日/第1水曜
- 1個248円(税込)



津軽の桃ソースが絶品!



ジューシーで甘い「津軽の桃」

平川市で「津軽の桃」の栽培に取り組むようになったのは2004年(平成16)のこと。りんごの価格低迷や台風のリスク回避のために、ほかの果物を探していたところ、津軽平野の昼夜の寒暖差が桃の栽培に適していること、りんごの栽培技術を活用できることがわかり、本格的に栽培が始まったという。

3 菓子処西谷の「桃のシューキューブ」

シュークリームといえば丸い形が定番だが、「菓子処西谷」のものは四角形。サクサクしたシュー生地の中は、津軽の桃とクリームが2層構造。見た目もおしゃれでおみやげにしても喜ばれそう。

- 平川市尾上栄松61-2
- TEL 0172-57-2240
- 営業時間/8:00~19:00
- 定休日/不定休
- 1個450円(税込)



四角の中にはクリームたっぷり

4

ももさわ菓子舗の「ぷるるん桃水」

津軽の桃の果汁を使った、白あんベースの水羊羹。ゼリーのような食感で甘さ控えめのさっぱり味で、果肉がトッピングされたぜいたくな和スイーツである。



平川産の桃をトッピングした和スイーツ

- 平川市本町北柳田16-1 ● TEL 0172-44-2015
- 営業時間/8:30~19:00 ● 定休日/第1水曜 ● 1個250円(税込)

平川生まれのハードサイダー

「釈迦のりんご園」のりんごを使ったハードサイダー「CRAZY CIDER」。DRYは甘味を抑えており、食中酒として最適。SWEETはりんごのすっきりとした甘味が特徴。パーベキューや風呂上がり一杯のみならず、おみやげや贈答品にも喜ばれている。

- CRAZY CIDER STORE
- TEL 0172-55-0201 (津軽おのえ温泉福家)
 - 営業時間/9:00~17:00
 - 定休日/土・日曜
 - ドライ2本+スイート1本+化粧箱入り1980円(税込)



りんご王国・青森の中でも平川市はトップクラスのりんごを生産している。その品質の高さは、「青森県りんご品評会」で毎年のように最高賞の「農林水産大臣賞」を受賞しているほどだ(平成31年時点で36回)。そのおいしさの秘密は、良質な土地と水、寒暖差のある冷涼な気候、日照時間が長いことにある。そして、生産者のたゆまぬ努力によるものが大きい。5月から始まる摘花と摘果作業、9月の葉摘みと玉まわしは、根気のいる作業だが、おいしいりんごをつくるには欠かせないという。収穫が終わってからも作業が続き、1月から3月には整枝剪定が行われる。

収穫されたりんごは形も味もよく、糖度も高い。りんごが並んだ産直は、甘酸っぱい香りに包まれ、実りの秋の到来を感じさせる。酸味と甘味のバランスがよいりんごは、フレッシュな風味を生かしたジュースやジャム、菓子などに加工され、1年を通して平川市のりんごが楽しめる。



平川のりんごは味も糖度も抜群!



これぞ平川グルメ! 夜は酒と共に

旅の楽しみは、おいしいご当地グルメ。和食店や居酒屋など、地元客でにぎわう夜の店で、店主おすすめの料理を堪能しよう。



4 自慢は旬の魚と日本酒。食のコラボを堪能 居酒屋 呑み処 四季坊 正

名物は「しらうおの唐揚げ」で、味が塩・コンソメ・のり塩の3種類。旬の食材を使った料理が多い。料理と日本酒のマリアージュを大切にしているため、珍しい銘柄も並ぶ。

- ◎ 平川市本町北柳田13-29-2F
- ◎ TEL 0172-55-6756
- ◎ 営業時間/17:00~22:00 ◎ 定休日/不定休
- ◎ アクセス/弘南鉄道平賀駅から徒歩約5分

◆店内には生簀があり、新鮮な魚介が味わえる。

3種類の味から選べる「しらうおの唐揚げ(520円~・税別)」。



1 珍しい魚料理もある地元に愛される店 寿司 大前寿し

創業約30年、盆や正月には帰省客も訪れる人気店。「刺身盛り合わせ」は、旬を大切にするため、日によって内容が変わる。「鯛カブトの酒蒸し」など、珍しい魚料理もあり。

- ◎ 平川市本町平野24-1 ◎ TEL 0172-44-7095
- ◎ 営業時間/16:30~22:00 ◎ 定休日/水曜
- ◎ アクセス/弘南鉄道平賀駅から徒歩約10分

◆「刺身盛り合わせ」は1人前1,500円~(税別)。写真は2人前。

寿司ネタは季節によって変わるので、津軽の旬の味を味わえる。



5 店主が釣った新鮮な魚を刺身で味わう 居酒屋 だいにんぐ すとん

人気が高い「刺身盛り合わせ」は、切り身が厚く、魚の味をしっかりと堪能できる一皿。季節や旬によって魚介が変わるので、リピーターも多い。また、さまざまな地酒がそろっており、料理と酒のペアリングも楽しめる。

カウンター6席と座敷6名の小さな店。



- ◎ 平川市本町北柳田126-1
- ◎ TEL 090-4884-6035
- ◎ 営業時間/17:00~24:00 ◎ 定休日/日曜
- ◎ アクセス/弘南鉄道平賀駅から徒歩約5分



「刺身盛り合わせ」は、1人前1,700円~(税込)。

2 市場から仕入れる食材。メニューは100種類! 和食 かんちゃん

「自分が通いたくなるような店を目指している」という店主。メニューは約100種類を数え、特に魚介料理に人気があり、「お刺身盛り合わせ」は味もボリュームも納得のいくもの。週末は予約を取ってからの来店がおすすめ。

壁いっぱい貼られたお品書き。どれもおいしいので迷いそう。



- ◎ 平川市本町北柳田126-6 ◎ TEL 0172-44-3607
- ◎ 営業時間/17:00~23:00
- ◎ 定休日/第2・4・5日曜 ※連休時は月曜休
- ◎ アクセス/弘南鉄道平賀駅から徒歩約5分



「刺身盛り合わせ」は1人前1,700円(税込)。写真は2人前。



6 締めデザートまでもおいしい口福な料理 居酒屋 とりこ

ジューシーな「ビーフステーキ」や甘辛い味付けの「唐揚げ(650円・税込)」が人気。店主が元パティシエだけあり、スイーツも充実。アイスクレープやワッフルなどがあり、これを目当てに来るお客も多い。

- ◎ 平川市本町北柳田13-29 ◎ TEL 090-6221-8178
- ◎ 営業時間/17:00~24:00頃
- ◎ 定休日/水曜、第3木曜
- ◎ アクセス/弘南鉄道平賀駅から徒歩約3分

◆柔らかくジューシーな「ビーフステーキ(1,000円・税込)」。

店の雰囲気もよく、心地よく過ごせる。



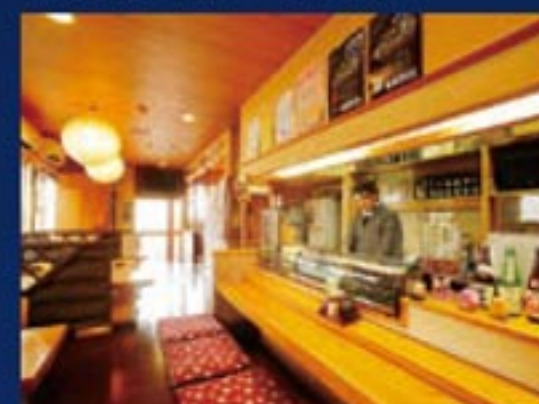
3 「平川サガリ」をやきとりで味わえる店 やきとり やきとり 元。

メインは、炭火で焼く「やきとり」。じっくりと焼かれた肉は柔らかく、ジューシー。平川サガリの「牛サガリ串」はテーブルに置かれた自家製の甘辛漬けタレで味わう。くれぐれも2度漬けしないように。

- ◎ 平川市本町北柳田21-7 ◎ TEL 0172-44-9123
- ◎ 営業時間/17:00~23:00 ◎ 定休日/不定休
- ◎ アクセス/弘南鉄道平賀駅から徒歩約3分

◆「手前が「牛サガリ串(200円・税込)」、奥が「串焼きAセット(500円・税込)」。

店主の創作料理を求めて、女性を中心に幅広いお客が訪れる。





フォトジェニックな改札口

弘南鉄道 津軽尾上駅

尾上散策のスタートはこの駅から。駅舎の外観は猿賀神社の社殿をイメージして建てられたという。改札口は往時の様子を想起させるような佇まいを残し、全国から駅舎ファンが訪れるというのも納得。

◎ 平川市中佐渡南田 ◎ TEL 0172-57-3400

CMのロケ地になった駅



JR奥羽本線 碓ヶ関駅

明治28年(1895)に開業し、現在の駅舎は昭和時代に建てられたものとか。駅前にもノスタルジックな風景が広がり、ついのおびりしたくなる。「碓ヶ関御関所」と「道の駅いかりがせき」に隣接し、散歩コースとしてもおすすめ。

◎ 平川市碓ヶ関高田

津軽尾上駅前にある温泉銭湯



大和温泉

浴場のアーチを描いた天井やカラン、自動肩たたき機など、昭和レトロの雰囲気は今に残す温泉銭湯。地域の人たちに愛されている「美人の湯」は加水加温なしの源泉掛け流し。手ぶらで入浴サービス(650円・入浴料込)もあり。

◎ 平川市中佐渡南田1-2 ◎ TEL 0172-57-2852 ◎ 営業時間 / 7:00~22:00
◎ 定休日 / 毎月1日・15日 ◎ 入浴料金 / 大人400円、高校生以下150円、6歳未満60円



HIRAKAWA RETRO

あの懐かしい時代に タイムトラベル

今と昔が交差する平川では、
そこかしこに昔の面影が残っている。

世代を超えて愛される豆腐店



角田とうふ店

夏は冷奴、冬は湯豆腐、そして、豆腐の味噌汁や豆腐ステーキにと、食卓に欠かせない豆腐。「角田とうふ店」は平川の老舗豆腐店として、おいしい豆腐や油揚げをつくり続けている。昔のままのパッケージも愛されている。

◎ 平川市猿賀平塚29-2 ◎ TEL 0172-57-2207
◎ 定休日 / 不定休

県外客も多いまちの食堂



かなや食堂

蔵の建ち並ぶ金屋地区でまちの食堂として約40年。昔ながらの佇まいを残す店内は心地よく、女性ひとりでも入りやすい。各種ラーメンが好評で、「みそラーメン(800円・税込)」のピリ辛スープを求めるリピーターが多い。

◎ 平川市金屋上松元78-12 ◎ TEL 0172-57-4700
◎ 営業時間 / 11:00~17:00 ◎ 定休日 / 木曜



平川謎解きイベント

まちを歩いて
隠された謎を解く

謎を解きながら平川市内を満喫できる体験型謎解きイベント。ひとつのエリアで行われる謎解きイベントから、5つのエリアを巡る街歩き型謎解きイベントまで4プログラムが用意されている。

プログラム1 謎解きは公園の中で 謎の池

●所要時間/1時間 ●料金/1,000円 ●催行期間/4月~11月
●問い合わせ/(一社)平川市観光協会 TEL 0172-40-2231

プログラム2 謎解きは公園の中で2 謎の桜

●所要時間/1時間 ●料金/1,000円 ●催行期間/4月~11月
●問い合わせ/(一社)平川市観光協会 TEL 0172-40-2231

プログラム3 平川謎解き街めぐり 5つの宝を探せ

●所要時間/1時間(2エリアクリア)~4時間(5エリアクリア)
●料金/1,000円 ●催行期間/4月~11月
●問い合わせ/(平川市謎解き街めぐり事務局) TEL 090-4623-0064

プログラム4 ナゾ解きプログラム 小さな園の大きな秘密

●所要時間/1時間 ●料金/1,000円※盛美園の入園料が別途必要
●催行期間/4月~11月
●問い合わせ/盛美園 TEL 0172-57-2020

ペダルボートで水上散歩

猿賀公園にある見晴ヶ池の人気アクティビティといえば「ペダルボート」。2019年からは「ゴールドスワン」が登場！ボートで池を1周したら、金運に恵まれるかもしれない。

●場所/猿賀公園 ●料金/30分800円 ●催行期間/4月~11月初旬
●問い合わせ/(一社)平川市観光協会 TEL 0172-40-2231



農村生活体験 ファームステイ

田植え、リンゴや野菜の栽培・収穫など、その季節に合った農作業のほか、宿泊しながら郷土料理作りを体験。スローライフを満喫できるプログラムとして好評。

株式会社
グリーンファーム農家蔵

●平川市金屋中松元88-1
●TEL 0172-88-5039
●受入期間/通年
●体験日数/1~4泊
●体験料金/
要問い合わせ・要相談



フルーツ収穫体験

おいしい農作物が栽培されている観光農園でフルーツの収穫体験。

広船観光りんご園

●平川市広船地区 ●TEL 090-8256-4037(事務局・外川)
●体験期間/9月上旬~10月下旬
●体験時間/9:00~16:00
●入園料/要問い合わせ

あすなるブルーベリー農園

●平川市大坊竹原218-1 あすなる理研 ●TEL 0172-44-1159
●体験期間/7月上旬~8月上旬
●体験時間/8:30~16:00 ●入園料/大人500円・子ども300円

兼春さくらんぼ園

●平川市沖館長田349-1 ●TEL 0172-44-7420
●体験期間/6月中旬~7月中旬 ●体験時間/9:00~16:00
●入園料/第一農園:大人1,000円・子ども500円、
第二農園:大人1,000円・子ども500円



平川に 体験する ハマる プラン

平川市のことをもっと知りたい、発見や感動と出会い、充実した平川時間を。

ひらかわ案内人 ガイドコース

コース1

盛美園 ~和洋折衷の不思議な世界~コース
本コースでは非公開の2階を見学できます。

●所要時間/1時間 ●料金/1名2,000円(入場料込)
●催行人数/1名~(最大5名) ●申込締切/希望日の5日前まで

コース2

猿賀神社~のどかな自然をゆったり散歩~コース

●所要時間/1時間 ●料金/1名1,500円 ※6名以上は割引プランあり
●催行人数/1名~ ●申込締切/希望日の5日前まで

コース3

じっくり歴史の道 羽州街道矢立峠コース

●所要時間/2時間30分 ●料金/1名3,000円 ※6名以上は割引プランあり
●催行期間/6月~10月 ●催行人数/2名~ ●申込締切/希望日の5日前まで

コース4

まったり礎ヶ関の歴史旧跡めぐりコース

●所要時間/3時間30分 ●料金/1名2,000円 ※6名以上は割引プランあり
●催行期間/4月~11月 ●催行人数/3名~ ●申込締切/希望日の5日前まで

●問い合わせ/(一社)平川市観光協会 TEL 0172-40-2231(受付時間/平日9:00~16:00)

ひらかわ案内人と「まち」を歩く
観光客を温かくもてなし、地域の魅力を伝える「ひらかわ案内人」。歴史や暮らしを聞き取りやすい津軽弁で案内してくれるのも魅力だ。
コースは4本あるが、「盛美園」は、非公開の2階空中楼閣を見学できる特別プラン。清藤家と盛美園の歴史も深く学べるコースである。
「和洋折衷の不思議な世界」は、非公開の2階空中楼閣を見学できる特別プラン。清藤家と盛美園の歴史も深く学べるコースである。

熊獅子と鹿獅子の競演 津軽最大級の例大祭



①② 多くの観客が見守る中、県内各地の伝統芸能保存会による獅子舞が、笛や太鼓のお囃子に合わせて披露される。

猿賀神社十五夜大祭

津軽を代表する
秋祭り

岩木山神社、高山稲荷神社とともに津軽三大神社に数えられる「猿賀神社」では、毎年旧暦8月14日〜16日に津軽最大の例祭「十五夜大祭」が行われる。県無形民俗文化財「津軽神楽」が奉納されるほか、県下獅子踊大会や神輿渡御などが行われる。2日目にあたる十五夜には「観月祭」が挙行され、厳かな雰囲気にも包まれる。

◆猿賀神社十五夜大祭

- 開催日時／旧暦8月14日〜16日
 - ・1日目(待宵宵) 9:15〜県下獅子踊大会、18:00〜宵宮祭
 - ・2日目(十五夜) 11:00〜例祭、18:30〜観月祭
※十五夜参りは随時
 - ・3日目(十六夜) 11:00〜神恩感謝祭

- 会場／猿賀神社
- 問い合わせ／猿賀神社 (TEL 0172-57-2016)

平川あどの祭

平川ねぶたの余韻を満喫する

「平川ねぶたまつり」を見られなかった人やお盆の帰省客のために開催される祭り。平賀駅前が歩行者天国となり、扇ねぶたの展示や運行、ミニライブやクラフト市などのさまざまなイベントも開催される。



平川市イベントカレンダー

4月下旬〜5月上旬	平川さくらまつり (猿賀公園)	9月上旬	ひらかわフェスタ (楽天イーグルスひらかドーム)
5月下旬	農家蔵・農家庭園めぐり (金屋地区)	旧8月14日〜16日	猿賀神社十五夜大祭 (猿賀神社)
7月下旬	平川市蓮の花まつり (猿賀公園)	11月下旬〜2月中旬	ひらかわイルミネーションプロムナード (平賀駅前)
8月2日・3日	平川ねぶたまつり (平賀駅前)	旧1月7日	猿賀神社七日堂大祭 (猿賀神社)
8月14日	平川あどの祭り (平賀駅前)	1月下旬	農家蔵ライトアップ (金屋地区)



祭りイベント

練り歩く世界の扇ねぶた

ねぶたの囃子は団体ごとに異なり、調子が心地よい。

観客を楽しませる前ねぶたも見どころのひとつ。

道幅をいっぱいを使い、観客をも蹴散らすような堂々たる「世界一の扇ねぶた」の姿は圧巻。

ねぶた山車だけでなく、太鼓台車にも注目。

心踊るねぶたまつりや津軽最大の十五夜大祭など、情緒のあるまつりのほか、楽しいイベントも盛りだくさん。

約30台のねぶたが平賀駅前を練り歩き、多くの観客でにぎわう。

平川ねぶたまつり

◆平川ねぶたまつり

- 開催日時／8月2日・3日 18:30〜運行終了まで
- 会場／イオンタウン平賀〜弘南鉄道平賀駅前
- 問い合わせ／平川市商工会 (TEL 0172-44-3055)

ねぶた展示館

- 平川市柏木町藤山16-1
- 開館時間／8:30〜16:30
- 入館料／無料
- 休館日／6月中旬〜7月中旬 (ねぶた絵貼り替え期間) ※天候により臨時休館あり
- ※施設の詳細は P11 を参照



堂々たる行列
余韻を残す囃子

津軽地方の夏の風物詩といえ、ねぶたまつり。平川市では「平川ねぶたまつり」と「おのえ夏まつり」が開催され、多くの観客でにぎわう。

平川ねぶたまつりは、約30台の扇ねぶたが出陣し、団体ごとに囃子や掛け声などが異なるのが特徴。パレードの最後尾を飾るのは、高さ12メートルもある「世界の扇ねぶた」だ。水墨画調で描かれた絵も珍しい。

中畑手焼きせんべい

昔ながらの技法を頑なに守り、1枚ずつ丁寧に焼かれるせんべい。甘めの生地で大粒の豆がぎっしりと詰まり、サクッとした食感と豆の香ばしさを楽しめる。定番のピーナッツのほか、カシューナッツなども。

中畑手焼きせんべい本舗
 ● TEL 0172-44-3570
 ● カシューナッツ(6枚入)720円、くるみ(6枚入)720円、全て税込



ドルチェようかんワイキューブ (津軽:青森りんご&ローズhipp味)

こぎん刺しをモチーフにした箱に入っているのは、3センチ角のかわいらしい羊羹。「津軽」は、青森りんごとローズhippのさわやかな風味が特徴で、お茶にもコーヒーにもぴったり。

タグポート株式会社
 ● TEL 0172-55-0201 ● 1箱4個入702円(税込)

りんごのリズム

平川市の特産・りんごをデザインした手ぬぐい。ふだん使いに限らず、ファッションシーンやインテリアのアイテムとしてもどうぞ。

久光社
 ● TEL 0172-57-5218
 ● りんごの響き770円、りんごの二重奏935円、りんごの響きガーゼタオル990円(全て税込)

プレミアム トマトジュース

サラダでもおいしく食べられるトマトをジュースに加工。さわやかな酸味のサマーチカと強い甘みを持つサンチェリーピュアをブレンドしており、水も食塩も香料も不使用。本物のおいしさを味わってみては。

株式会社 小山内機器
 ● TEL 0172-44-3519
 ● 1本5,000円(税込)

平川サガリ

平川市民に愛され定番となっている肉の部位「サガリ」。市内では家族や仲間との団楽のご馳走として、庭で炭をおこし、サガリやホルモンなどが食されてきた。

水木精肉店 ● 平川市町居南田79-1 肉の豚全 ● 平川市本町北柳田11-17 (平賀駅前)
 ● TEL 0172-44-2566 ● TEL 0172-44-2035



SOUVENIR
 おみやげ

平川の魅力を お持ち帰り

平川生まれのおいしいものやクラフト。散策やグルメを楽しんだあとは、かわいいおみやげ探し。

鉄道ファンにも 愛されるローカル線

弘前市と隣接する市町村を結ぶ「弘南鉄道」。大正15年(1926)設立と歴史は古く、弘前市から大鰐線と弘南線が運行されている。2路線のうち平川市を通るのは弘南線で、沿線の風景が美しいローカル線として鉄道ファンに人気が高い。弘前駅を出発した電車は、岩木山を背に走り、平川市内に入り、平賀駅を過ぎると車窓左手に雄大な岩木山が見えてくる。次の柏農高校前駅は、赤色が印象的な駅舎だ。その隣の津軽尾上駅は、ジブリ映画の舞台の参考になったといわれている。「盛美園」の最寄り駅でもある。このローカル線に乗っていると、津軽平野の豊かさが感じられる。平成27年(2015)、この地で栽培されたブランド米「青天の霹靂」が本格販売された。程よい粘りとキレを持ち、上品な甘みを持つ米で、青森の農家の実力を知らしめた。秋には田んぼが金色に輝き、果樹園ではリンゴが赤い実をつける。その中で電車が走る姿は美しく、旅情をかきたててくれる。



車窓からの眺めも抜群「弘南鉄道弘南線」



1 柏農高校前駅は岩木山を背景に撮影できるスポット。2 リンゴ畑の中を走る弘南鉄道。3 雪をかき分け走る除雪用ラッセル車。4 季節ごとにイベント列車があり、冬には津軽の郷土料理を味わう「けの汁列車」が運行される。5 昭和55年(1980)、東急から譲受された車両。かつて弘南線の主力車両として活躍した。6 昭和30年代の弘南鉄道平賀駅。7 弘南鉄道のイメージキャラクター「ラッセル君」8 大鰐線弘南線共通1日フリーキップ「大黒様きっぷ」を使ってローカル線旅。

弘南鉄道 ● 平川市本町北柳田23-5 ● TEL 0172-44-3136

平川市広域マップ

HIRAKAWA MAP



アクセスガイド

ACCESS GUIDE



ra:kra × 平川

とって おきの 平川 を 探し に 行 ころう

発行/平川市 お問い合わせ/平川市経済部商工観光課
〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25-6 TEL 0172-44-1111 FAX 0172-44-8619

本誌に掲載している情報は発行後にデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。

平川市 検索



携帯・スマートフォンで読み取り
平川市HPサイトへ